

在宅医療・介護連携推進のための研修会(リハビリネット部会) アンケート結果

部会 : リハビリネット部会

日時 : 令和2年1月22日(水)18:30~

参加者 : 61名

場所 : 安城市市民会館3階 大会議室

内容 : 自立支援の核心に多職種で迫るPart2 ~お値段以上生活機能連携向上加算~

回収率 : 98.4%

1.職種

職種	人数
1 介護福祉士	7
2 看護師	3
3 ケアマネジャー	20
4 社会福祉士	5
5 ヘルパー等介護職	1
6 保健師	1
7 言語聴覚士	0
8 作業療法士	3
9 理学療法士	15
10 その他	10
その他内訳 事務職・社協・包括・訪問ヘルパー	
合計	60

2.所属

職種	人数
1 行政	2
2 居宅介護支援事業所	18
3 社会福祉協議会	3
4 小規模多機能	0
5 診療所	5
6 地域包括支援センター	5
7 通所介護	9
8 通所リハビリテーション	3
9 特別養護老人ホーム	1
10 病院	4
11 訪問看護ステーション	1
12 有料老人ホーム	1
13 老人保健施設	3
14 その他	5
合計	60

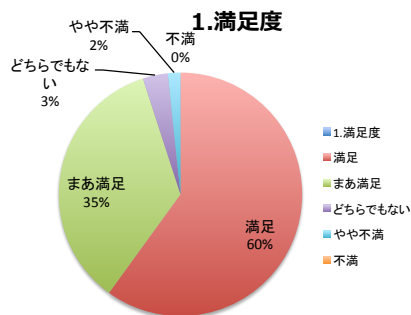


講師 : リハビリネット部会

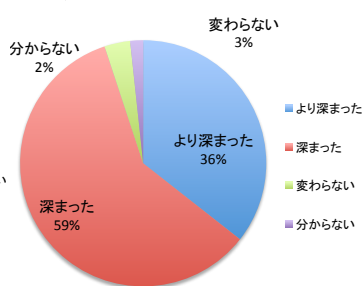
JA愛知厚生連 介護老人保健施設あおみ 作業療法士 岡田浩幸氏

3.研修の反応

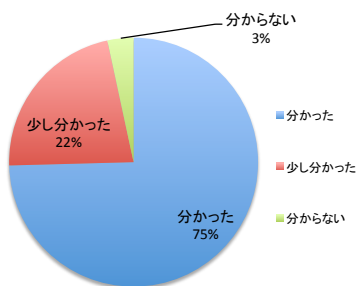
1.満足度



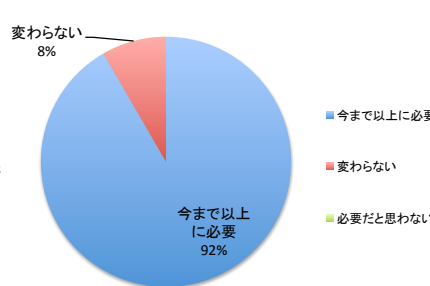
2.連携について理解は深まりましたか？



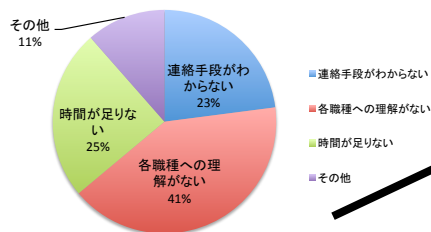
3.各職種の専門性・価値観はわかりましたか？



4.多職種連携の必要性について



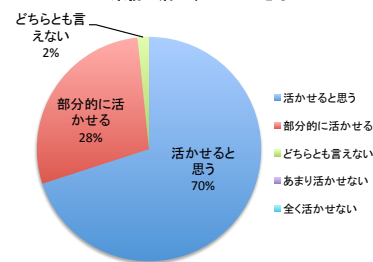
5.連携をとる上での課題について



5. 連携を取る上での課題(その他の意見)

顔の見える関係、相手との距離感
現状うまくできていると思う
誰に連絡して良いかわからない
担当のつかない利用者のケースはどの機関が旗振り役となるか
お互いの都合の良い時間、連絡の取り方を知りたい
気づきがない
交流。顔が見える関係になっていくこと

6.業務に活かすことができるか？



4.自由記載

楽しくて分かりやすく、とても良い研修だった。

楽しい研修でした。ありがとうございました。

多職種と顔合わせのできる今回のようなグループワーク形式はとても良いと思いました。

明るい雰囲気で行われ、楽しく参加することが出来ました。

絵を描くことでイメージが膨らみ、目指す姿が描きやすかった。

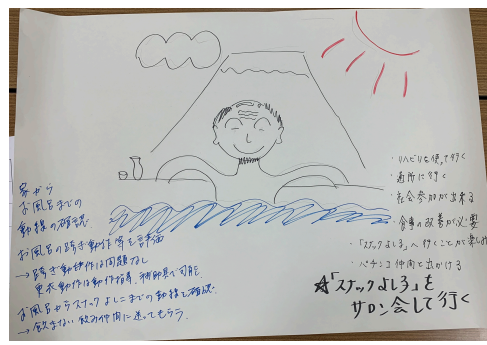
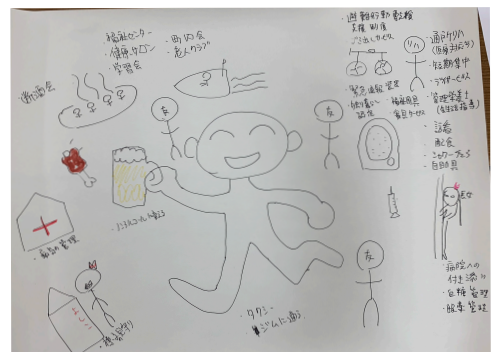
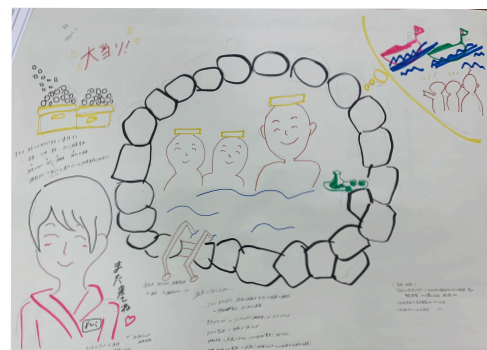
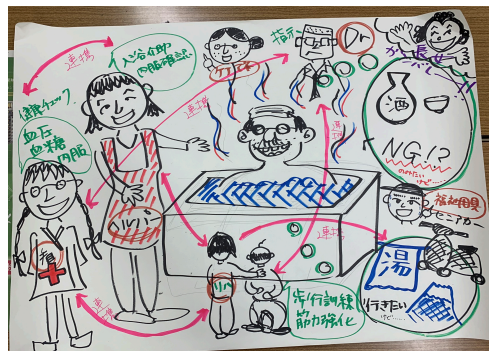
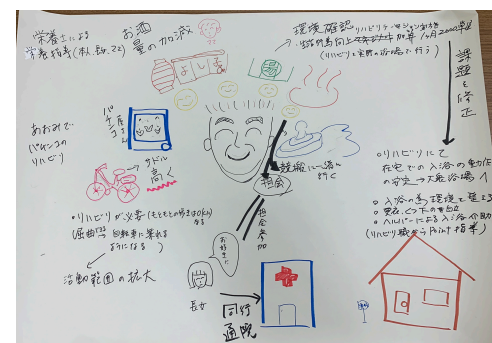
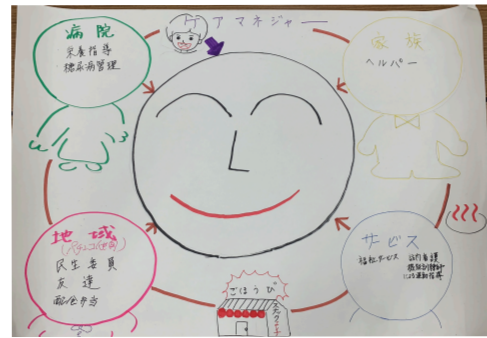
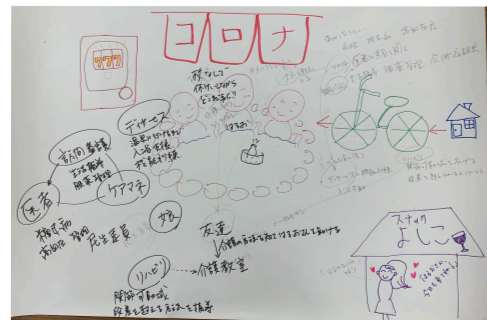
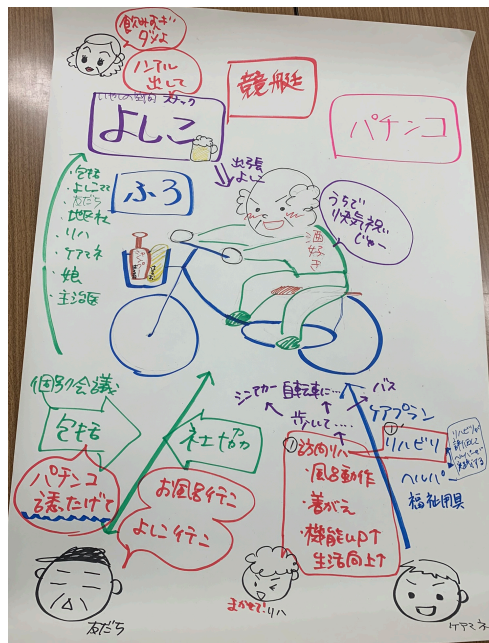
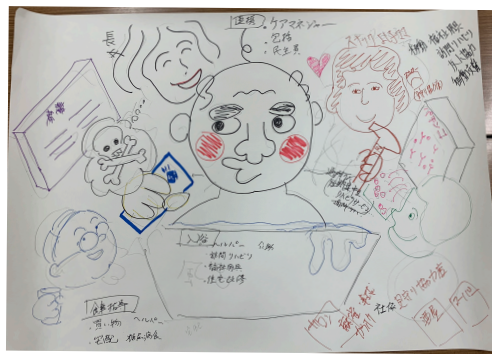
本音の出しやすい催し必要かと思いました。「笑」のテーマ研修

グループワークで連携を実感することが出来ました。ありがとうございました。

話し合いの中にも笑顔が必要だと感じました。

理学療法士の方より色々お話を聞いてよかったです。ありがとうございました。

裏面に成果物等添付→



安城地域リハビリネットワーク

Facebook

安城地域リハビリネットワーク

代表 青木一樹

aoki@ansyokai.or.jp

